

秦野市手をつなぐ育成会会報

平成 29 年
第 329 号

— 9 月号 —



広報推進委員会
発行責任者：相原和枝
(連絡先：84-2241)

【目次】

- * 平成 29 年度 8 月定例理事会報告————— 1
- * 第 51 回手をつなぐ育成会関東甲信越大会千葉大会の報告————— 2~3
- * 各委員会報告————— 4~6
- * 各支部報告・編集後記・花火募金の報告————— 7~8

【行事予定】

- *9月2日(土) ◆ 9月定例理事会(第4会議室) 10:00~12:00
- *9月3日(日) ◆ 秦野市防災訓練・育成会安否確認(各地区) 9:00~

- *9月16日(土) ◆ 秦野市手をつなぐ育成会50周年記念式典
(多目的ホール)

- *9月17日(日) ◆ たけのこ学級『野外活動』(表丹沢野外活動センター)
10:30 市役所 現地集合 11:00

- *10月7日(土) ◆ 10月定例理事会(第4会議室) 10:00~12:00
- *10月15日(日) ◆ たけのこ学級『クリスマス会飾り作り』(本町公民館)
9:30~12:00

- *10月21日(土) ◆ 第50回秦野市社会福祉大会・福祉展(秦野市文化会館)
- *10月21日(土) ◆ スポーツフェスティバル



《育成会ホームページ》

hadanoikuseikai.com

平成 29 年 8 月 度 定例理事会報告

8 月 5 日(土)10:00～12:00 保健福祉センター第 4 会議室 [出席 25 名]

会長の挨拶	◇50 周年記念式典が来月となりました。今日は理事の役割分担を決めさせていただきます。ご協力をよろしくお願いいたします。 (相原)
会報について	【8 月号会報の説明】 ☆高水福祉会研修会の報告等載っています。お読みください。 (小山) 【委員会報告】 * 広報: 次回の印刷は 8/31(木)場所は第 2 会議室です。よろしくお願いいたします。 (小山) * 災害対策: 9/3(日)の安否確認は 8 時会長の連絡より開始し、市のサイレンを聞いてから安否確認開始です。事前連絡の日程は支部ごとに判断して下さい。支部長用記録用紙は 9/15(金)までに藤原まで FAX で送って下さい。(藤原)/防災用品(別紙参照)の価格は見積り後決定しお知らせします。 (秀川) * 地域生活: 8 月には高齢障害者の実態調査アンケートの結果が出ます。 (秋元) * こうぼう山の会支援: 10/29(日)はバス旅行があります。9/16(土)の記念式典でのコンサートは 11:30 頃から 20 分歌を歌います。当日 9/30 より練習し、式典には出席せず待機します。8/12(土)は歌の練習があります。是非ご出席ください。 (福島) 【支部報告】 * 東支部: 支部施設見学は秦野精華園今泉生活ホームとファミリーホーム秦野です。(北島) 本町支部: 定例会を 8/19(土)13:00～イオン・フードコートで行います。 (宮原) 大根鶴巻支部: 8/26(土)支部旅行の予定です。39 名参加。 (板倉) 西・南・北各支部⇒会報記載の通りです。
福祉大会表彰者選定について	◇福祉大会は 10/21(土)10:00～文化会館で行います。 ◇市長表彰…【援護功労】鈴木明子(大根鶴巻)、近藤由美子(西) 【介護功労】風間一枝(北)、江波戸真鈴(大根鶴巻) 【自立更生】秋元盛照(西)、三浦雅子(西) ◇社協会長表彰…草山良子(西) ◇受賞者と事務局で食事会をします。支部から受賞者に花束の準備をお願いします。 ◇福祉展…10/21(土)支部と委員会は作品を作成して下さい。 (相原)
スポーツフェスティバルについて	◇10/21(土)午後～体育館で行います。 ◇詳細は 9 月に連絡します。 (山口)
そうめん販売状況について	◇会報の 3 ページをご参照ください。 (山口)
高水福祉会の研修について	◇決算報告(別紙参照)⇒理事により承認。残金は本部に返金しました。 ◇報告記事は会報の 2 ページに掲載しています。お読みください。 (相原)
関プロについて	◇9 月号で詳細を報告します。(山口) ◇決算報告(別紙参照)⇒理事により承認。残金は本部会計に返金しました。 全国大会 2 名分の費用を計上しました。 (相原)
50 周年記念式典について	◇記念誌のゲラ刷りが出来ました。支部長・委員長はご確認ください。原稿訂正は 1 週間以内に山口さんまでお知らせください。各施設の方々からの原稿を頂いています。 ◇理事の役割分担(別紙参照)ご確認ください。 ◇前日 13:00～会場準備をします。お手伝いよろしくお願いいたします。 (相原)
バスレクについて	◇日程: 11/11(土) 行先: 東京方面 スカイツリーは 10:00 から上ります。(相原) ◇詳細は 9 月にお知らせします。
その他	① 8/26(土)～27(日)被災地支援に行き(南三陸)、支援隊で夏祭りをします。(相原) ② 応急手当講習会の参加希望者は 8/10(木)までに藤原に連絡をして下さい。(藤原) ③ 事務局会議: 8/20(土)10:00～ 担当: 委員会(地域生活)・支部(本町)

広報推進委員会 黒川

第51回手をつなぐ育成会関東甲信越大会千葉大会

第5分科会「権利擁護を考える」

～相模原事件から1年…多様性を認め合える共生社会を目指す～

登壇者

野澤和弘氏 毎日新聞社論説委員

松上利男氏 社会福祉法人北摂杉の子会理事長

久保厚子氏 全国手をつなぐ育成会連合会会長

・野澤氏より

障害者に対する合理的配慮は社会周辺の人に良い恩恵が繋がっていくという言葉に感銘を受けました、例えば車椅子トイレが多目的トイレ(高齢者、妊婦、乳幼児、怪我をした人)となり、車椅子の人だけでなく必要な人が使える、シルバーシートも同様に必要な人が必要な時に使える、それが世の中に浸透して来ている。

人として困っている人が居たら(障害者に限らず)出来る人が手助けするという当たり前の社会、障害者を通して社会を良くして行く必要が有る。

当たり前のことを今一度丁寧に見直す時なのかと感じました。

・松上氏より

経営者の立場から津久井やまゆり園事件に触れ、内部で虐待防止について心を砕きチェックする仕組みを作るべきであり、当事者が自分たちも被害者であるという姿勢には批判的であった。

・久保氏より

差別が起きるのは人々の心の内にある予断と偏見に起因し、偏見や先入観から特定の個人や団体に対して不利益・不平等な扱いをすることになる。

誰かの許可を貰ったり善意にすがって生きているのではなく、強い意志を持って当然のように生きている存在です、その社会に住む一人ひとりが生まれて来たことの生きがいを感じるようであれば本当の成熟した社会と言う事は出来ない。

参加者の私見

・差別は誰の心の中にもあり法律で縛られるものではない。

ではどうやって差別をなくすのか？人間はたとえ障害者でもすべて生きる価値が有る、情緒的に訴える事に力はあるのか？無いとは言えないがそれよりも効果のあるのは、本人及び代弁者(親・施設の職員・行政)が存在を訴えて行くしかない。

・講演された方皆様の語られたことはそれぞれ素晴らしく訴求力の有るように感じられたが、ではそれを実現するにはどうすれば良いか？との点には触れていない、私が本当に聞きたかったのは問題解決の方策でしたがこの点には触れられていなかったのが残念です。

第5分科会の参加者

相原、福島、板倉、藤原

第3分科会 「計画相談で広がる暮らし」 ～ 本人に伴走する ～

本分科会では、本人や家族の生活状況が変化していく中で、本人のための生活設計を誰とどう作っていけばよいのか？暮らしを支え続けてくれるのは誰なのか？切れ目のない支援のために、計画相談を身近なものにしていくことをテーマに講和がありました。

特に印象に残った点は、①今後の高齢化を見据えて、相談支援専門員と介護支援専門員（ケアマネージャ）の資質の向上を図り、主任相談支援専門員を立ち上げる。②市町村（自立支援）協議会は地域作りの中核である。③今後全国に配置していく基幹相談支援センターが機能しているかのチェック体制が必要。④緊急対応が発生した場合に‘その場をしのぐ’（支援体制が整うまで一緒に頑張る）ことも大事。などがあります。上記について、育成会としても課題と捉え注視していきたいと思います。

《参加した会員の感想》

- ・親として今までサービス等利用計画を行ってきたが、それは親の思いが強く入り過ぎていなかったか、本人の意思は存在したか考えさせられた講演であった。
- ・今必要な支援だけど3年後、5年度と先を見据えた支援を考えていかなければならない。
- ・秦野市には基幹相談支援センターがあり相談員や行政や事業所の繋がりがあり心強い。
- ・相談員を育む気持ちを持って、親も色々と聞く耳を待ち、本人のライフプランを作っていこうと思う。
- ・親一人子一人での生活や兄弟との二人暮らしにおいて、孤立死防止のため、各支部との関わりやお互いの共助が大切と感じた。

第4分科会 「高齢化を考える」 ～ 暮らしと医療・だれに託す？ ～

高齢化を迎えるということは、本人の身体機能・認知機能の低下が起き、親も同様に介護者としての役目を担えなくなる。誰が親の代わりに担うのか？サービスを組み合わせる・後見人を立てる・ホームドクターを依頼するなど、はたして自分の子どもに合わせた仕組みはできるのかが親の不安である。24時間365日の生活を含めて見てくれる訪問診療、高齢になっても安心して生活できるグループホームは、「あったらいいな」で終わらせるのではなく、そういうサービスを育てていくことが大事と感じた。

制度は市に裁量があり、介護保険と障害サービスの併用することで、今まで使っていたサービスをそのまま使いたい、その人との関係性を壊したくない。色々な課題は出てくる中で、親としてできることは本人のライフストーリーを元気なうちに本人と一緒に作っておくことができ、それが本人を支える人達のツールになる。

大会テーマである「ここで暮らし続ける」住みなれた地域で暮らし続けるためには、5年後、10年後の姿は見えないけれど託すことのできる法的支援、相談意思決定支援、生活支援の3つの輪と、サービス提供事業所、医療機関等が繋がりを作り、本人の意思決定を支えるネットワークを作っていくことだと思いました。

『委員会報告』

<広報推進委員会>

☆8月3日(木):「手をつなぐ育成会会報・8月号」の印刷および製本終了後、委員会を行いました。広報の活動の現状について活発な話し合いになりました。気持ちよく委員会が活動できるよう話し合いを続けていきたいと思ひます。



(近藤)

★次回は、10月5日(木)に会報印刷作業があります。
お手伝い頂ける方は10時半頃にボランティア室へお越しください。

<災害対策委員会>

防災豆知識

防災グッズ選びのポイント

防災グッズは世の中に沢山出回っています、出回り過ぎていて何を選んだらよいか解らないという方も多いかと思ひます。

そこで今回は防災グッズの選び方を考えてみたいと思ひます。

- ① 本当にそれを背負って逃げられるか?
「あれもこれも」とリュックに放り込む人が居ます、防災リュックが重くなりすぎると、その分いざという時に体力が必要です。
災害の時に一番守らなくてはいけないのは、あなたとあなたの家族です。
- ② 本当にそれは必要?
何となくイメージで「普段使わない特殊なモノ」を入れたがる人が居ますが、本当にそれは必要ですか? 普段使った事も無い道具を本当に使いこなせますか? 防災用品だからと言って特別に用意しなければならないものは意外に少ないものです。
普段使っているものをコンパクトにまとめておくことがとても大切です。
絶対に必要なものは「お薬と現金です」必ず防災用品の中に入れておいてください。

8月度災害対策委員会

議題:

- 1、災害時の備蓄品について
防災用品カタログから紹介する物品の見本品選定。
9月の理事会で展示できるよう準備する。



(藤原)

<地域生活支援委員会>

【今後の予定】

- ☆委員会 *日 時; 8月31日 10:00~12:00
*場 所; 保健福祉センター 地下厚生室
*テーマ; アンケート実施後の中間報告
次号で報告いたします。

(秋元)



【ヤングマンクラブ 今後の予定】

☆9月23日(土); 13:30~15:00
場 所; 保健福祉センター 多目的ホール
持ち物; 上履き・タオル・飲み物

介護者のみの
参加もOKです!!



<こうぼう山の会支援委員会>

☆ 7月23日(日)、9時~9時半、市内さかえちよう公園でおそうじボランティアをしました
(参加者:本人9、支援者6)。暑い時期なので、早めに集まり、早めに終えました。
その後、本町公民館に移って歌の練習をしました。
秦野市手をつなぐ育成会50周年記念式典のコンサートへ向けての練習です。
おのずと練習に熱が入りました。

☆ 7月30日(日)、9時半~14時半、中野健康センターで恒例のサマーキャンプが開かれました
(参加者:本人22、親1、ふれんど6、支援者10)。お昼にサラダうどんとプリンアラモードを作って食べ、
カラオケやゲームを楽しみました。最後のくじ引きで当たった豪華な?おみやげを手に大満足で帰った
人も多かったのではないかと思います。

サマーキャンプ 2017 in
中野健康センター
広い部屋も、人でいっぱいです。
夏の思い出が、また増えました。



☆ 8月7日(月)、10時~11時半、保健福祉センターで定例の支援委員会を開きました(参加者6名)。
サマーキャンプの反省をし、10月のバス旅行の計画を立て、近づいてきた9月の50周年記念式典へ
の参加について話し合いました。

☆ 8月12日(土)、9時半~11時半、福祉センターで歌の練習をしました
(参加者:本人13、指導者2、支援者4)。
記念式典前の最後の練習でしたが、参加者が少なかったのは残念。
本番に強い「こうぼう山の会」の皆さんの式典当日の頑張りに期待したいところです。

(福島)

『こうぼう山の会のお知らせです』


(こうぼうやまの会 露木芳弘氏 作成)

こうぼう山の会よりお知らせ

1、9月16日(土)、保健福祉センターで秦野市手をつなぐ育成会50周年記念式典が開かれます。この式典に「こうぼう山の会」も歌で参加します。当日の流れは次の通りです。

{ 9:30. 地下厚生室に集合、1時間ほど練習をして多目的ホールに移動、コンサート終了後、地下厚生室に戻って昼食、12:30頃解散 }

2、9月23日(土)の歌の練習は中止します。次は10月14日(土)です。



露木芳弘

サマーキャンプ
大勢、あつまりました。
次は、秋の行事ですね。
身体に気を付けて
頑張ってください。
(T.N)



《支部だより》

〈東支部〉

8月10日(木) 施設見学へ 10:00～12:10 参加者6名

場所: 秦野精華園グループホーム 2件 今泉地区

* ヴォラーレ(一戸建て)利用者数 1階男性3名・2階女性3名の方々/平成ハイツ(アパートタイプ)男性5名の方々が、朝食と夕食を食堂で食べてそれぞれのデイに行かれているとの事。

○ その後食事(庄屋にて)

8月11日(金)東地区ふれあい祭りにお手伝いをしてくれる方を連絡網で募集

◎8月24日(木)施設見学 場所:曾屋1-7-41 ファミリーホーム秦野(グループホーム)

◎定例会は9月6日(水)10:00～イオン・フードコートにて開く予定です。お待ちしております。

〈西支部〉

7月22日(土)関プロ参加 支部より5名

8月5日(土)夏レク 西地区・渋沢地区・堀川地区の民児協様との交流会夕涼み会

どんぐり山荘 17:00～20:00

*今年も夕涼み会が、雨にも降られず無事に行われました。まず民児協さん(今回は渋沢地区担当)とのレクレーションから始まり、カレーを食べ、スイカ割り、花火とスムーズに進行できました。当日キャンセルも出た中、参加協力いただいた民児協様、会員の皆さんありがとうございました。

○ 8月22日(火)の応急手当て講習会・AED講習会参加呼びかけ

〈南支部〉

7月22日(土) そうめん流し 福祉センター玄関前広場 9:00～12:30

民児協 15名 育成会 18名 計 33名

*当日は気温も上がりそうめん流し日和でした。初めての行事のため、事前に南地区・南ヶ丘地区の民児協の障害部長様と打ち合わせをして無事に行うことができました。本人達の喜ぶ笑顔がみられました。その後調理室で支部会を行い、今後のそうめん流しについて皆様の意見を伺いました。暑いから大変だと意見は出ませんでした。蕎麦打ちと交互にやったら…?来年は皆様と話し合いしながら検討したいと思っています!!

民児協の皆様、会員の皆様、暑い中ご協力ありがとうございました。

8月1日(火)南地区ふれあいまつり実行委員会第2回 南公民館会議室 19:00～ 1名

○ 10月29日(日)のふれあいまつりの役割分担 資料にそって説明

8月6日(日)～7日(月)防災安否確認連絡網作成し配布 1名

〈北支部〉

今月は、支部の活動はありませんでした。

◎次回、9月14日(木)北公民館音楽室にて 10時～ 支部定例会を行います。

〈本町支部〉

◎次の定例会は、9月8日(金)13:00～イオン・フードコートで行います。
皆様のご参加をお待ちしています。

〈大根鶴巻支部〉

7月22日(土)第52回関東甲信越ブロック大会出席 第5分科会「権利擁護を考える」

松戸森のホール&21世紀の森と広場 13:00～16:10 参加者1名

8月10日(木)定例会 大根公民館会議室 10:00～12:00 参加者9名

- 理事会内容の報告
- 9月3日(日)安否確認について
- 関東甲信越ブロック大会について
- 浜名湖方面旅行について

◎9月の例会は9月7日(木)午前10時から12時です。会場は大根公民館会議室の予定です。

◎10月の例会は10月12日(木)午前10時から12時です。会場は大根公民館会議室の予定です。

《会員の移動のお知らせ》

秋本好子さんが、南支部から本町支部に移動されました。



【編集後記】

9月は防災週間があります。人間用防災グッズはだいぶ揃ってきましたが、我が家にはワンコ様がおります。災害が起きた時、息子を施設に迎えに行かなければなりません。ワンコと一緒に連れて行くためリュック型のケージを買いました。ワンコを背中に背負い、自転車で突っ走るのです(もしくは徒歩)。タイヤをつけてカートにもなるので、避難所にガラガラ引っ張っていくこともできます。練習のため雨の日にはこれを背負って近所をお散歩しています。自転車の練習もしなきゃだめかなあ。もちろんゆっくり走りますよ。(T.K)

領 収 書

平成29年8月7日

秦野市たばこ育成会 様

¥ 45,100 -

ただし、秦野たばこ祭花火募金として
上記正に領収いたしました。

秦野たばこ祭実行委員
古谷 義

たばこ育成会
秦野市
育成会

印紙税法の定めにより印紙は不要となっております。